

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に住む者として地域活性化に一役かいたいと、地元の農作物を買いに週1～2回、農協に出掛ける人がいる。その主旨を大事にし、スタッフは同行している。散歩中に出会う近所の方々とあいさつをすることを大切にしている。 ・市議員の選挙の際にはスタッフが同行する。投票の喜びと懐かしい人に会えたことの二重の喜びがある。 	
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「個人の尊厳を大切に」「画一性、押し付けの排除」「地域社会との融合を図る」という理念が、どのように具体化されているかについての話し合いを深め、一つ一つのケアに理念が反映されるような援助の内容へと深める努力をしている。 ・毎月のユニット会議で、前回申し合わせたことの経過と現在の状況を把握し、次の援助の内容を確認し合う。具体的な援助方法とともに、長期的な理念を忘れずに、根気よくとくんでいる。 	
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議を通じユニットの状況や課題を伝えている。 ・2ヶ月に1度の広報紙は普段の様子を伝えるよい機会となっている。 ・ご家族が来所された時には、活動の様子や食欲、体調の変化などについて話をし、またご家庭におられた時の様子等を聞き援助計画の参考にする。 ・ご家族が、ご本人にどのように日々過ごしてほしいと思っておられるかを聞くことは、援助計画を立てる時に非常に参考になり、ご家族の思いに添えるよう努力を重ねている。 	
2. 地域との支えあい			
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつを大切にしている ・農作物へのアドバイスをいただいたり、交流がある。 ・「夏まつり」「運動会」「ほたる鑑賞会」などその他地域行事には必ず時間や場所などの参加を促す声かけをして頂いている。 	

グループホーム西山の郷(もみじ)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の運動会や夏祭りを見に行ったり、ガラシャ祭りは行列を楽しみにしている。園児さんとの交流、ポップバンドさんも楽しみ、地域の神社のお祭も楽しみにしている。 ・長崎県や広島県に市役所を通して千羽鶴を贈ることに使命感をもっている人もいる。 ・今年は新型インフルエンザ流行のため、回数は減ったものの、園児さんとの交流を楽しみにし、流行のお礼にと、雑巾をプレゼントしようと熱心に縫う利用者の姿がある。 		
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・長岡京市やすらぎ支援員の方が実習にこられたことがきっかけで、認知症の方を対象にしたレクリエーションの講習会にスタッフが参加し、地域貢献の場が広がっている。 		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・外部評価や自己評価を通して、理念の再確認をし、日々のケアをユニット会議等で話し合いスタッフの意識を高めることにつなげている。 ・ユニット会議などで、理念の再確認をしながら、重度化する利用者や変化する環境の中で自己を顧みる機会を作り、理念の具体化とはどうゆうことかを話し合い、ケアの向上に繋げていく。 	○	
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議に参加することで、地域の中で生きていることや地域の特性などを感じることができ、立場や角度のちがう意見等の中から、ケアの向上につなげていく。 		
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症ケアのセミナーや講習会のお知らせが常にあり、スタッフは機会をつくり参加し、参加後はユニット会議で研修として他のスタッフとともに共有している。 		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニットに1名が成年後見を利用されている。 ・成年後見制度や地域福祉権利擁護事業の知識を深め、ご家族の要望に添える努力をしている。 		

グループホーム西山の郷(もみじ)

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
11	○虐待の防止の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待はないが、スタッフの精神的、身体的なストレスがケアに影響しないよう、自己の健康管理を促している。 ・利用者の行動を急がせたり、励ましたりの言葉などが負担にならないよう、言葉づかいへの配慮をしていく。 	○	
4. 理念を実践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<ul style="list-style-type: none"> ・解約ケースは、入院して戻れなくなったケース1件である。ご家族と今後の方向性を充分話し合い、また入院先の相談員とドクターと家族と管理者の懇談の場を設け、ご本人とご家族の安心につながることができた 		
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉だけでなく態度から不安や不満がみられた時は、廊下や夕食後などで1対1になる機会をもち、安心して気持ちを出せるようにしている。 ・ご家族の意見、お気持ちは傾聴し、一緒に考え、援助計画にとり入れている。 		
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・面会時に暮らしぶりや健康状態など報告している。また急な変化があった時には電話にてお知らせし、相談することもある。金銭管理は毎月ご家族に出納簿のコピーを送っている。 ・援助計画について報告し、また意見をいただいている。 ・健康状態や身体的な変化について、現状とこれから起こりうる変化について、何がどのようにどの時期に伝えるかは難しいところであるが、前向きに捉えながら工夫できる場所を相談したり、どのように過ごして頂きたいかを、ご家族の確認を取りながらケアに繋げていきたい。 	○	
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<ul style="list-style-type: none"> ・面会にこられた機会を大切にし、ご意向をうかがっている。ご家族が安心していただける方向をさぐっている。 		

グループホーム西山の郷(もみじ)

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>・管理者が身近におり、スタッフは常に意見や提案が出来る環境にあり、またそれが活かされている。</p> <p>・相談することで、対応や解決への道へと繋がっていく。</p>		
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>・スタッフの確保とともに、業務の見直しなど時間配分を考えた上で、利用者の買物の同行、病院のつきそいなど、また介助量の多い利用者の対応などに工夫している。</p> <p>・重度化による介護量が増え、時間もかかるようになっていく。二人介助の必要な時もあり、スタッフの声かけにより、全体の安心安全を見守りながら過ごしている。業務の見直しや時間配分を考えるとともに、スタッフの介護術の向上にむけて努力している。</p> <p>・レクリエーションが少なくなりがちなのでそのための時間や内容の工夫を必要としている。</p>	○	
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>・7月にスタッフの交代があった。スタッフ間の連携を密にし、業務をスムーズに遂行する努力をして、利用者の戸惑いを小さくするよう努めた。</p>		
5. 人材の育成と支援				
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>・社内の研修に関してはシフトをやりくりしながらも学ぶ機会の確保に努めている。</p> <p>・社外の研修、セミナーにも積極的な参加体制にし、学んだことはユニット会義等で共有し、ケアに活かせるように努めている。</p>		
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>・地域の研修会に参加し、交流や情報交換の機会を得、自身の糧として、自己研鑽のきっかけとしていく。</p> <p>・ユニット会議等で発表することで、復習となりより理解が進む。また地域の同業者が見学や実習・相談に来られることもある。</p>		

グループホーム西山の郷(もみじ)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回の「職レク」をスタッフは楽しみにしている。 ・福利厚生の利用も多く、保養所やセレクトプランを活用している。 		
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会等への積極的な参加呼びかけがあり。そのための勤務調整も可能である。資格手当や取得のための体制もある。 ・日々の業務の中で言葉がけで意欲を引き出されている。 		
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・入居時の1週間後のカンファレンスと1ヶ月後のモニタリング評価をした上で、生活援助計画の見直しを必ずしている。そのためには、ご本人の揺らぎや不安に添い、今の心境をしっかり受け止めた上で、今後どのように過ごしたいか、気持ちと心を感じながら今何が必要なのかを一緒に考えていく。 		
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・事前面接では、本人の面接とは別にご家族の思いもしっかり受け止める機会を設け、ここで生活することに安心がもてるように、またどんな暮らし方を求めているのかを聞きながら、ご家族と相談しながらご本人を見守っていく。 		
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・相談があった場合は、その意図を探り何が本質的な悩みや訴えなのか、または利用者や家族本人が気づかない心の内があれば、整理がつくように傾聴しながら、共に心の整理をしていく。 ・「独居の会」や地域の参加には、ご家族の相談の上、参加してもらう。 		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	<ul style="list-style-type: none"> ・入居にいたるまでには、見学はもちろん、お試し入居のシステムもあり、本人の気持ちを尊重し、その利用者にあった馴染める工夫を努めている。日帰りもある。 		

グループホーム西山の郷(もみじ)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>・人生の先輩として敬い、生活歴や生活習慣、し好や興味のあることを大切にし、一緒にできることを介在として会話をし、何に喜び、何に怒るか等、よく見つめながら、その人なりの生活ができる環境づくりに努めている。</p> <p>・生活や社会の生き方を振り返り、その時々で生きていた土地の方言で気持ちを表現する人や、リサイクルやエコに興味があり、自分にできることを模索している人もいて、前向きに生きる姿勢に学ぶことが多い。新聞の川柳欄などを読み、共に楽しんだりしている。どの人にも気持ちを表現できる環境を作れるように努める。</p>	○	
28	<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>・気軽に面会に来てもらえるよう配慮し、利用者の笑顔に共に喜び、援助の課題に対して相談し、協力を得たりご家族とスタッフとの信頼関係に努力をしている。</p> <p>・利用者から人生の先輩として学ぶことの多いことなど話をして、安心して頂いている。</p>		
29	<p>○本人と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している</p>	<p>・家族と受診をかねて外出される方もあり、その日は昼食をともにされ、ゆっくりすごされている。遠方のご家族も含め電話のかかってくる人もあり、そういう機会を利用者と共に喜んでいる。</p> <p>・週に1回、一週間分の薬を持って来所のご家族や、春と秋の年2回遠方から来て宿泊されるご家族もある。ご本人と談笑したり、雰囲気を見て安心して頂けるのは有難いと感じている。</p>		
30	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>・少し離れたスーパー等への買い物にも時間などを工夫して同行できるよう配慮している。</p> <p>・ドライブの折、馴染みの場所を通るなど工夫している。</p>		

グループホーム西山の郷(もみじ)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・歌の好きな人が多く、合唱することで、「あんた歌うまいなあ」「よう知ってるなあ」と他者を理解し、認め合う機会となっている。 ・座る位置やレク内容など、利用者の気持ちや関係に合うよう工夫し楽しく過ごして頂くよう努めている。 		
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	<ul style="list-style-type: none"> ・入院などで退去された方については、その方が不安にならないように馴染みの関係のあるスタッフが見舞いに行き、安心できる気持ちになれるよう見守る。 		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃の会話の中から、希望や意向をくみとる努力をしている。また散歩やフロアの活動によって、新たな興味や思い出すこともあり興味の幅が広がる活動を試みている ・スタッフは、各自気づいたことをユニット会議等に出し合い、共通の理解をつなげている。 ・調理や掃除の仕方など、ご本人の希望や意向のはっきりしている人は、他者とのトラブルがないようにスタッフが間に入って調整したり、スタッフが一緒にすることで穏やかに行うことができるよう配慮している。 		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・初期面接やモニタリング、アセスメントシートなどの記録をもとに利用者の全体像に近づく努力をしている。 ・色々な話題を提供し、会話の中からご家族への思い、故郷の思い出、趣味などを伺うことができる。そういう機会を大切にしながら、ケアに繋げている。 		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・朝のバイタルチェック、顔色などにより健康状態を把握し、入浴、散歩等のケアの目やすにする。 ・入室時間の長い方には訪室し、様子観察する。 ・スタッフ間の申し送りを大切にし、状況を把握する。 ・体操など、体を動かすことで気分転換を図る 		

グループホーム西山の郷(もみじ)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	<p>○チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>・ユニット会議で、現状と課題を出し合い、具体的な援助方法と長期目標を確認する。その際、ご家族からの希望や意見を大切に、また医療面ではかかりつけ医の意見を参考にしている。</p> <p>・つつい利用者だけを見てしまいがちになるので、ご家族の希望や意見を大切にすることで、ご家族を含めた生きてこられた人生そのものも大切に、より深い利用者の理解、援助へと努めている。</p>	○	
37	<p>○現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>・3ヶ月の援助内容をたてているが、変化のある時はご家族やかかりつけ医、スタッフ間で相談して1ヶ月の計画に変更をして、状況にあう援助計画を考えている。</p>		
38	<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>・援助計画をもとにその日、計画にそった援助ができたかの確認と、新たに気づいたことや喜怒哀楽を記録し、次の計画や実践に活かしている。</p> <p>・援助計画を作るころから、積極的に参加をし、内容や意味を深め、実践に繋げる。観察力を養い、行動に繋げ記録とし、情報の共有に役立てて、よりよいケアを工夫していく。さらにスタッフ間の共有を増やしていく。</p>	○	
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	<p>○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>・ご家族より利用者の靴の依頼があった時に、併設の訪問事業所のケアマネさんのはからいで福祉用具の業者へ連絡してもらうなど、情報交換がある。</p> <p>・入浴が困難な方があり、併設の訪問事業所の方に在宅での方法や、また福祉用具の業者にはシャワーチェアの相談をしたりしている。</p>		

グループホーム西山の郷(もみじ)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40	<p>○地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p>	<p>・絵の会、書道の会、ポップバンドさんの訪問を楽しみにしている</p> <p>・交流会での琴の演奏やふく話術、南京玉すだれ等、ボランティアさんによる協力がある。</p>	
41	<p>○他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p>	<p>・入居されて間もない利用者で認定更新の際に、本人やご家族の希望により、行政担当課と相談の上、今まで馴染みあるケアマネジャーに調査依頼をすることもあった。そのケアマネジャーの配慮により、民生委員さんをお願いして独居の会に参加できるようになった。</p>	
42	<p>○地域包括支援センターとの協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p>	<p>・運営推進会議のメンバーにも地域包括支援センターが参加し、また、地域包括ケア会議など地域会議にも出席しているので、常に利用者の権利擁護などに関ることが発生すれば相談している。</p>	
43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>・2週間に1度の訪問診療があり、また発熱など、変化が見られた時には、随時連絡がとれる状況であり、夜間にも対応があり、安心して暮らしてもらっている。家族対応で受診されている方もあり、「療養手帳」の活用によって、状況の共有ができています。</p>	
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>・京都大学付属病院の専門医や地域の専門医にご家族同伴で定期的に受診している。常に相談できる関係性である。</p>	
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>・かかりつけ医や訪問看護師の指示や判断を仰ぐ。</p> <p>・2週間に一度の訪看により、体調の見守りのアドバイスを受けている。また、変調のあった時、電話にて相談をしている。</p> <p>・当ホームの看護師には日常の健康管理の相談や受診の判断の相談をしている。</p>	

グループホーム西山の郷(もみじ)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	○	<p>・契約時のご本人やご家族の意志を再度確認し、いろんな状況を考えながら、何度もくりかえし話し合い、全員で方針の共有していきたいと思う。</p>
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	○	
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		<p>・入院になるケースはあるが、「移り住む」ケースはない。</p>
<p>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1)一人ひとりの尊重</p>			
50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>		<p>・お一人お一人の誇りやプライバシーを傷つけないように配慮して言葉かけや対応している。記録等個人情報のものは整理を心がけ、施錠して管理している。</p> <p>・耳が遠くなった人に話しかける時の声の大きさや話しかけ方を工夫して、その方との関係を大切にしよう努めている。</p>

グループホーム西山の郷(もみじ)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
51	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>・ゆっくりはっきり話しかけるよう配慮をしている。何がしたいのかをご本人が表現しやすいように選択できるものを見てもらって選んでもらったりしている。</p> <p>・考えたり迷ったりされている間は、待つことを大切にしている。</p>	
52	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>・その人の生活ペースを大切に、食事の時間やまた居室での食事にも応じている。外食に関しても体調や天候、生活時間などを考慮しながら、希望を聞き添えるよう努力している。</p> <p>・散歩に出たくて窓から天気を眺めていたり、買い物に行きたくて用意をしておられたり、様子から気持ちが伝わってくることもあり、スタッフは声をかけ合いながら、時間の調整などをして気持ちに合っている。入浴もその人の気持ちや体調に合うよう行っている。</p>	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>・ボランティアの美容師さんにご本人の希望を伝えている。</p> <p>・外出の際には、その場にふさわしい服装をご本人と選び、着ていただいている。</p> <p>・食べこぼしなどで汚れた時は、気持ちよく過ごしてもらえるよう、着替えをして頂いている。</p>	
54	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>・ごはんの固さを利用者好みにし、野菜切りや食器洗いなど、食事を通して会話をするなど食事が楽しみになる工夫をしている。</p> <p>・食器洗いの後は、手荒れ防止のため、ハンドクリームを塗っている。また、直接参加できない人にも、出来上がるまでの匂いや音などを聞き、出来上がる楽しみを共に味わってもらっている。</p>	
55	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>・おやつは季節の野菜、果物をとり入れたり、それを材料にケーキ、ジュース等にしたりしている。楽しい時間であり、好みを大切にしながら、体調のコントロールにも配慮し工夫している。</p> <p>・嚥下の困難な方にはプリンなどゼリー状のものを用意したり、牛乳やさつま芋などを使ったおやつは、排便コントロールにも利用している。</p>	

グループホーム西山の郷(もみじ)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
56	<p>○気持よい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	<p>・排泄の場所や行為にとまどいがみえる方には、排泄チェック表にて時間をかきこみ、タイミングをみて誘導している。失禁への非難(他者から)のため気分が沈む対応としてリハビリパンツ、パットの使用を試みているが、排泄への介助にとらわれることなく、できることやしたいことを大事にしている。</p> <p>・寝たきりの方のためにもね気持ちよく排泄してもらおうと、ポータブルトイレへの介助をしている。早めの対応でオムツかぶれなどの予防をしている。</p>		
57	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>・体調や生活ペースを考慮しながら、ご本人の希望を大切にしている。</p> <p>・清潔にすごしてもらえよう声かけは随時行っている。</p> <p>・体調や気持ちが向かず入浴できない時は、清拭・手浴・足浴・頭髮はこまめなブラッシングやドライシャンプーで対応し、気持ちよくすごせるよう努めている。</p>		
58	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	<p>・入眠までに時間がかかる人にはホットミルクを飲むなど、職員がそばにいてゆっくりした時間を持ち、気持ちをリラックスしてもらおう。</p> <p>・添い寝の必要な人には寝付くまで対応している。</p> <p>・布団に横になることの理解が困難な方には、まず布団の上に座ってもらい、体を横にし枕に頭をつけ、足を伸ばし…と一つずつの行為を一緒に行い、添い寝をしながら入眠を促している。安心して眠れる言葉も模索しながら行っている。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>・散歩、ドライブ、かるた、絵をかく、書道、合唱などのく機会の提供する。またご本人が一人で、楽しめる読書なども大切にしている。</p> <p>・朝、そうじ機を居室や廊下をかける方もいて役割となっている。</p> <p>・新聞を見る方、テレビ欄を見て見たい番組を選ばれる方、クロスワードパズルなど、知的欲求の高い方もおられ、そういう方の要求にも応じていきたい。手芸や川柳、また季節感を取り入れたものをもっと考えていきたい。</p>	○	
60	<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>・買い物を楽しみにしておられる方には、スタッフが時間の工夫をしたりしながら、希望に添っている。</p>		

グループホーム西山の郷(もみじ)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	・散歩やドライブの機会をもって、よい気分転換になっている。 ・買い物にも同行している。		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	・ご家族との外出をご本人と一緒に喜んでいる。 ・帰所後、外出先での様子を聞いたり、楽しかった思いを共有している。		
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	・外線のとおりつぎをし、ご本人の希望があれば、電話をかける手伝いもしている。 ・手紙をかかれる方には、郵便局へつきそっている。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	・ご家族等、友人等、来られた時には、居室でくつろいでもらい、お茶を出している。また、リビングで一緒に歌を歌われたり、TVを見られたりもしている。 ・ご家族の宿泊や来所時には居室で一緒に昼食をとられる方もある。		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	・身体拘束や言葉による拘束はない。 ・身体拘束のつもりはないが、他者介助などのために待ってもらっていることが、ご本人にとって精神的、身体的に苦痛にならないよう配慮し、希望されている時に動ける態勢をとっていきたい。	○	
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	・ご本人が鍵をかけることで安心を得られる場合には本人の意向として鍵をかけているが、基本的には鍵はかけていない。		

グループホーム西山の郷(もみじ)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
67	職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	<ul style="list-style-type: none"> ・業務分担の中でフロアには見守りのスタッフが必ずいることとし、利用者の所在や様子を見守っている。入室されている方には、訪室をしたり、体調の変化等に配慮している。 ・所在の確認とともに、階段やエレベーター付近、調理中の台所など、危険防止のため、常に見守りを必要としている。また居室内の電気コンセント類が気になる方などの安全確認もしている。膝関節症などから力が入らず、転倒の危険がある方など、居室内様子の把握の必要が増えている。 	
68	<p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・包丁やはさみ類のとり扱いは、スタッフの見守りのもとに行う。 ・お茶と洗剤などを近くに置かないなど、危険を防ぐ工夫をしている。 	
69	<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・転倒の危険のある方には、見守りのできる距離にいて、立ち上がられた際には歩行介助をする。 ・薬はスタッフが管理し手からこぼれ落ちないか等、見守っている。 ・ヒヤリハットを書くことにより、事故の分析をし、スタッフ全体へ伝え防止につなげる ・利用者の安全確認とともに工夫が必要と感じている。また誤嚥防止のため、食事の形態の工夫とともに、座位がとれているか、体は反っていないか、また体調はどうかなど観察できる力をつけられるように全スタッフについてOJTとして取り組む。 	○
70	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフルームにはってある緊急マニュアルを職員は確認している。 ・救急救命の講習を受けている。 	
71	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者も参加し、年2回の避難訓練をしている。 ・日常的には避難経路の確保に努めている。 	

グループホーム西山の郷(もみじ)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	<p>○リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている</p>	○	
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>○体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>		
74	<p>○服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>		
75	<p>○便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>		
76	<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>		

グループホーム西山の郷(もみじ)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
77	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養士がサポートしながら献立に自由性をもって調理している。 ・野菜、ごはん等もやわらかめに調理し、そしゃく力によっては刻む等の工夫もしている。水分補給には注意している。水分量をチェックし、排尿量と対比している人もいる。 ・食事が少ない方にはおやつにホットケーキやフレンチトーストなどで補っている。 ・お茶が咽る人にはゼリーにして提供している。ラコール(栄養補助薬品)を処方してもらっている人や、好みによりポカリスエットなどを利用して水分補給をしている。夜間時にも必要に応じて水分補給をし、脱水予防に繋げている。 		
78	<p>○感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・食事前の手洗い、外出先から戻った時のうがい、手洗いを励行している。 ・トイレ後の手洗いも注意し、手すりの消毒等はこまめに行う。 ・トイレ介助時には手袋を使用する。 ・アルコール消毒も取り入れている。 		
79	<p>○食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・衛生管理に常に配慮し、賞味期限のチェックも常に行っている。 ・調理に関わるスタッフ、また利用者も一緒に手を洗い、消毒後、マスク、エプロンを着用している。 ・冷蔵庫・食器棚などもこまめに消毒し、まな板の保存などにも気を付けている。食器類の消毒も夜勤者によって行われている。 		
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p>				
<p>(1)居心地のよい環境づくり</p>				
80	<p>○安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・玄関は常にオープンであり面会の方も自由に出入りができる。 ・庭のガーデニングセットはティタイムにも利用できほっとひといきつける場となっている。 		
81	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・リビングでは季節感を感じてもらえるようなものを、利用者と一緒につくり、飾っていく。 ・また、絵の会や書道の会などの作品を展示し励みにしてもらう。 ・季節感を感じてもらえるものを増やしていきたい。 ・トイレ使用後は清潔感を保ち、臭いにも配慮していきたい。 	○	

グループホーム西山の郷(もみじ)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
82	<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>		
83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		
84	<p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>		
86	<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>		
87	<p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんで、活動できるように活かしている</p>		

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

グループホーム西山の郷(もみじ)

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

利用者それぞれの気持ちの現し方や、体調の変化のある中で、その人らしさとは、生きていることの実感とは何かを考え、私たちにできることを考え続けることが大切だと思います。利用者様の願いに添えるよう努力し続けるスタッフでありたいと思います。